

ともしび会

「ともしび会」は、徳丸一丁目の最南端、東武練馬からほど近いときわ通りの一角、東武東上線の線路沿いに位置し、春には桜が咲き誇る。我がともしび会は、昭和29年に世帯数25で産声をあげたとのことである。当時はときわ通りも行き止まりで数軒の家が建ち並び、水道も下水も都市ガスも整備されていなかった様です。それを様々に陳情し、整備してもらい、住みやすい地域へと変えていただいたのが、まさしく歴代町会長をはじめとした町会の皆様だったと長老達にお聞きした。長い年月が経ち、徳丸タウンブリッジが完成し、ときわ通りが下赤塚へと伸び交通の便が見違える様になったのは平成9年の事。

現在も56所帯と非常に小さい町会であるが、その小ささこそが当会の魅力であると自負する。小さいが故に皆さんの顔が見える。皆さんの声が聞こえる。この地を作った長老達に恩返しができる様に、老若男女、老いも若きもそして未来ある子供達が安心して暮らせるさらに素敵な街を、町会の皆さんと作っていきたいと思う。小さな炎だけど、心温まるともしびでありたいと願う。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています

春のときわ通りを彩る桜。今は5本が残るのみとなったが、この並木が好きで引っ越して来られた方もいるという。

